

長岡市のワーキングプア

—働いても働いても収入は生活保護水準以下の若者たち—

河合靖久

はじめに

NHKスペシャル七月二三日放送「急増、働く貧困層」は衝撃的です。(以降、働く貧困層⇨ワーキングプアと表記)。現在の貧困を具体的な事実で追求し、説得力のあるものでした。内橋克人さん(経済評論家)は貧困の連鎖・再生産が若者の未来と可能性を、全て奪ってしまふ現代の恐ろしさ指摘しています。

それは全国を覆う暗雲と思います。私の住む長岡市のワーキングプアの一端を追ってみます。

一、長岡市の職員募集—臨時・パートの増加

「ながおか市政だより」の一月号から七月号までの

臨時職員の募集要項を以下の項目でまとめてみます。

① 募集人数 ② 雇用期間 ③ 応募資格 ④ 賃金
報酬 ⑤ 勤務日、時間

・ 体育施設委託職員および臨時職員 職種⇨館長・
場長・管理員。

① 一六人程度(社会保険等)に加入 ② 一年間、(屋外施設は、一二月末まで)更新あり ④ 月額一五万七千円。
日額六三九〇円 ⑤ 土日祝を含む交替制勤務)

・ 指導員スポーツ

① 二人 ② 一年間、勤務実績により更新あり ③ 要
資格(大学院除く) ④ 日額七八七〇円(予定) ⑤ 土
日祝を含む交替制勤務

・ 市立保育園保育士(臨時職員)

- ① 一〇人程度 ② 六ヶ月（勤務実績により更新あり）
- ③ 要資格 ④ 日額六七一〇円（社会保険等に加入）
- ⑤ 月約一四万円 ⑥ 月二二日程度（一日八時間早番遅番あり、月一十勤務）

・看護師（非常勤委託員）

- ① 若干名 ② おおむね一年、勤務実績により更新あり
- ③ 要資格 ④ 日額一万二千円程度 ⑤ 月々金勤務。

*まだありますが、他は末尾に資料として掲載。

この期間の臨時雇用職員の総数は四〇余名で、同じく正規職員募集の一般事務職一五名程度、消防職員や看護師、保育士、技術者等の採用予定者の総数とほぼ同じです。

このままつづけば近い将来、市の職員の半分は不安定な「臨時職員」となる日がくるかも知れないのです。現に、長岡市に限らず新潟市でも保育園等は、公立私立を問わず、職員の半数近くが月収一〇万円以下のパート労働で運営されているとのこととです。

給与のほうも司書・保育士・看護師・体育指導員等の資格があっても、月額にすると一五万円前後です。

私も在職した市内の学校では、給食調理員の新規採用はなくパートや臨時で補充され、給食の民間委託を進めていきました。栄養職員も数ヶ校の兼務が当たり前となり、図書館司書も学級担任の兼務で教員の仕事量が増えました。教務室も、子どもの困難な現状から職員は増えても、時間講師などを補充するので、打ち合わせなどでも勤務時間内にとれない状態です。臨時職員がそこで得る給与では、交通費や住居費・食費等が「持ち出し」になるので、親に援助してもらおう有様です。

臨時採用者の月収は、資格を持つ人でも一五万円前後ですから、資格の合わない若者は月収一〇万円以下で働くのが圧倒的に多いのです。

子どもにじかに接する保育士、教員は安定した対応が求められますが、臨時やパートが多く「夜も昼もバイトのはしご状態」では、担当する方も子どもたちも将来の見通しが持てなくなるのではないのでしょうか。

保険や諸手当の費用を節約する雇用があらゆる職種に増えています。三〇代後半になるとハローワークの求人数は減り、親からの援助が断たれると簡単に路上生活者になる可能性をばらんでいます。

目のあたりにしている銀行員、郵便配達員の半分は、

アルバイトやパート・派遣労働者とも聞いています。

二、ワーキングプアを生み出したもの

「所得が生活保護基準以下の世帯は、勤労世帯全体の二〜三割程度……」（労働旬報社「ポリテイク第一〇号」特集・現代日本のワーキングプア・以下同誌より引用）。「90年代後半から日本型雇用の解体が急速に進み、雇用条件と賃金水準は大幅に下落し、…税制と社会保障の『構造改革』は低所得層の負担を増大させた」

国会では「公共サービス改革法」が成立しました。市場化テストで『公共サービス』について、『官』と『民』が対等な立場で競争入札に参加し、価格・質の両面で最も優れた者が、そのサービスの提供を担っていくこと（規制改革・民間開放推進会議）を強引に推進されます。それが、はたして導入の目的としている「公共サービスの質の向上と公共サービスの効率化（経費・人員の節減）※地域産業の活性化にもつながる……」のでしょうか。

経費と人員の節減は確実に進み大企業ほど利益を増していますが、不安定雇用の増大と、公共サービスの質や効率には逆に低下しているのが実態でしょう。

三、「構造改革」路線と「派遣労働」の増加

私が主に見てきたものは「市政だより」の中でこれまで「公務」（公共の仕事）として位置づけられ「信頼と安定」が求められてきた内容です。そこでも低賃金の派遣労働者が確実に増えています。

「構造改革」路線で派遣労働が原則自由化などの法的な規制緩和と企業の非正規雇用の増加で年収一五〇万円未満の二〇代が二割に増加……（厚労省・〇六年版「労働経済白書」）。

そのような中で、長岡市の消費生活センターでは、半分以上が役務（サービス）に関する相談だそうです。大型店舗の撤退が続き、シャッターを締め切った店も増える中で、明るい報告もあります。地域の活性化に若者グループが名乗りを上げたり（和島地域）長岡駅周辺商店街にチャレンジショップが産声を上げたり等の試みが起きています。

長岡民商にも「そちらの団体は消費税増税に反対ですか」との中学生の来訪を受け、若い世代の可能性も期待されます。サラ金被害の青年とも、体験者と話し合う中で解決への道は「世の中の仕組みを学び・家族

の絆を強める」方向にあるのではないかとのことです。

働く意志と意欲を持つているのに、生活保護水準以下の賃金では、豊かな生活が望めないばかりか、年齢を重ねる度に貧困の度合いが強まる仕組みが作られています。人間として、働くものとしての誇りさえ奪われてしまう労働形態や賃金は「おかしい」「改善せよ」と主張しなくてはならないと思います。前述のNHKの番組の最後に「取材で私の会った人で努力してない人、意欲がない人は一人もいなかった。個人の責任ではなく社会の責任として考えるべきではないか：」とりわけ、子どもたちが未来への希望を失うことは避けなければ：」と取材担当のアナウンサーが述べたことにも胸を打たれました。

生活の安定や将来への希望がなければ、安心して結婚し、子どもを育てることはできないのです。

*本稿は、長岡民主商工会事務局長の竹島久一郎さんからの助言を得ました。

*新潟県出身の三浦展著『下流社会』（光文社新書、2005年）も具体的な分析で参考になりました。

〔資料〕

- ・ 図書館司書（非常勤委託員）①若干名 社会保险に加入 ②原則として一年間③要資格 ④月額一四万円。
- ⑤一日八時間 月一六日程度（土日祝を含む交替制）
- ・ 体育施設委託職員および臨時職員 職種Ⅱ館長・場長・管理員 ①一六人程度（社会保险等）に加入 ②一年間（屋外施設は、一月末まで）更新あり④月額一五万七千円。日額六三九〇円⑤土日祝を含む交替制勤務）
- ・ スポーツ指導員①二人②一年間、勤務実績により更新あり③要資格（大学院除く）④日額七八七〇円（予定）
- ⑤土日祝を含む交替制勤務
- ・ 市立保育園保育士（臨時職員）①一〇人程度②6ヶ月、（勤務実績により更新あり） ③要④日額六七一〇円（社会保险等）に加入 月約一四万円⑤月二日程度（一日八時間早番遅番あり、月々土勤務）
- ・ 看護師（非常勤委託員）①若干名②おおよね一年、勤務実績により更新あり③要資格④日額一万二千元程度⑤月々金勤務
- ・ 家庭児童相談員（非常勤委託員）①一人②二年（勤務実績により更新あり） ③要運転免許・熱意。④月額一 二万九千円（社会保险等）に加入⑤月々金勤務（一日六

時間

男女平等推進センター(非常勤委託員) ①一人②十ヶ月③簡単なパソコン操作④月額二万九千円(通勤手当、賞与なし)⑤月々土交代勤務(一日六時間)

介護保険料徴収員(非常勤委託員) ①一人②十ヶ月③業務に自家用車使用④月額七万九千円+能率給(賞与なし)⑤週二十時間程度

看護師(非常勤委託員) 保育園等巡回①一人②十一ヶ月③資格と自家用車使用④月額二万四千円(通勤手当、賞与なし)⑤月々金(一日六時間)

保育料徴収員(非常勤委託員) ①二人②十一ヶ月③業務に自家用車使用④月額七万九千円+能率給(通勤手当、賞与なし)⑤週二十時間程度

国際交流センター(非常勤委託員) ①一人②十一ヶ月③日常英会話、パソコン等使用④月額二万七千四百円(通勤手当、賞与なし)⑤月二十日程度(含土日祝)

保健師・看護師(非常勤委託員) ①一人②六ヶ月(更新あり)③要資格④月額七六一〇円〜七〇三〇円⑤週三十時間程度

プール監視員(アルバイト) ①六〇人程度②二ヶ月④月額五五四〇円

(かわい やすひさ・研究所員)

図書紹介

三浦展『下流社会』

新たな階層集団の出現

光文社新書
2005年

下流社会は著者の造語。日本はいま「中流化」から「下流化」へ移りつつあるという把握。中流化は戦後の日本では、1950年代後半から70年代前半にかけての高度経済成長期に発展した。50年代までの日本は、わずかな「上」(働かなくても豊かなお金持ち、資本家、地主など)と、たくさん「下」(働いても働いても豊かになれない貧乏人)からなる「階級社会」だった。

それが高度成長によって、いわゆる「新中間層」という階層が増加した。主としてサラリーマンの増加。財産はないが、所得が毎年増えて生活水準が向上していくという期待を持つことができる。「中」の人々が増えた。「下」が「中流化」した。しかし、いま階層格差の広がりは、「上」と「下」に二極化の進行を示す、と論証する書。

(T)